

3. 環境影響評価項目の選定

3.1 環境影響要因の抽出

本事業の内容及び周辺地域の概況を勘案し、事業の実施が周辺地域の環境に及ぼすおそれのある環境影響要因を「工事の実施」、「施設等の存在」及び「施設等の供用」に分けて把握した。その結果は、表 3-1-1 に示すとおりである。

表 3-1-1 環境影響要因の抽出結果

区分	環境影響要因	内容
工事の実施	建設機械等の稼働	<ul style="list-style-type: none"> ・土木工事、撤去工事、建設工事（建築物）については、大型ダンプトラック、バックホウ、ブルドーザ、クレーン等の建設機械を使用することから、これらの建設機械からの排出ガス（二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん等）、騒音、振動、温室効果ガスが発生する可能性がある。
	工事用車両の走行	<ul style="list-style-type: none"> ・資機材の搬出入等のトレーラー、トラック等、及び工事関係者の通勤における乗用車等の走行に伴う排出ガス（二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん等）、騒音、振動、温室効果ガスが発生する可能性がある。 ・これらの車両の通行が、周辺の交通及びコミュニティ施設や人と自然とのふれあい活動の場への利用に影響を及ぼす可能性がある。
	造成工事	<ul style="list-style-type: none"> ・造成工事に伴い、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん、騒音、振動が発生する可能性がある。 ・造成工事中、降雨時に発生する濁水により、水質に影響を及ぼす可能性がある。 ・造成工事により地下水に影響を及ぼす可能性がある。 ・盛土による地盤の圧密沈下が発生する可能性がある。 ・造成工事による土壤汚染の拡散の可能性がある。 ・造成工事中の建設発生土、建設廃棄物が事業計画地周辺に影響を及ぼす可能性が考えられる。 ・造成工事中、動物、植物、生態系に影響を及ぼす可能性がある。 ・造成工事により埋蔵文化財に影響を及ぼす可能性がある。
	プラント撤去工事	<ul style="list-style-type: none"> ・撤去工事に伴い、二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん、騒音、振動が発生する可能性がある。 ・撤去工事から発生する建設廃棄物が、事業計画地周辺に影響を及ぼす可能性が考えられる。
施設等の存在	建築物等の存在	<ul style="list-style-type: none"> ・施設等の建築物の出現が、周辺地域の日照や電波環境及び景観に影響を及ぼす可能性がある。また、水象、動物の生息環境、植物の生育環境、生態系に影響を及ぼす可能性がある。
施設等の供用	施設関連車両の走行	<ul style="list-style-type: none"> ・荷物運搬車両や通勤による乗用車の走行に伴い、排出ガス（二酸化窒素、浮遊粒子状物質）、騒音、振動、温室効果ガスの発生する可能性がある。 ・これらの車両の通行が、周辺の交通及びコミュニティ施設や人と自然とのふれあい活動の場への利用に影響を及ぼす可能性がある。
	施設の供用	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の供用に伴い、大気汚染（二酸化窒素、浮遊粒子状物質）、騒音、振動、低周波音、廃棄物、温室効果ガスが事業計画地周辺地域に影響を及ぼす可能性がある。

3.2 環境影響評価の項目

事業特性及び地域特性並びに抽出した環境影響要因を勘案し、事業の実施により影響を受けると考えられる項目を選定した。選定結果及び選定する理由または選定しない理由を表3-2-1(1)～(3)に示す。

表 3-2-1(1) 環境影響評価の項目の選定結果

環境要素	環境影響要因	工事の実施				施設等の供用	選定する理由 選定しない理由	
		建設機械等の稼働	工事車両の走行	造成工事	プラント撤去工事			
細区分	細区分							
大気質	窒素酸化物 (NO _x) 浮遊粒子状物質 (SPM)	○	○	○	○	○	○	建設機械の稼働、撤去工事及び工事車両の走行、施設の供用、施設関連の車両の走行による排出ガスの影響が考えられることから選定する。
	粉じん	○	○	○	○			建設機械の稼働、撤去工事、土地の掘削及び工事車両の走行に伴う粉じん等が発生するおそれがあることから選定する。
水質・底質	水の濁り			○				裸地が出現することから、降雨時の発生する濁水による水質への影響が考えられることから選定する。
地下水	地下水			○				「形質変更時要届出区域」に指定されていることから、評価項目として選定する。
騒音	騒音	○	○	○	○	○	○	建設機械の稼働、撤去時の機械の稼働及び工事車両の走行、施設等の供用に伴い発生する騒音・振動の影響が考えられることから選定する。
振動	振動	○	○	○	○	○	○	施設供用時において低周波音の影響が考えられることから選定する。
低周波音	低周波音					○		
悪臭	悪臭物質							工事の実施及び施設等の存在・供用において悪臭物質等は使用せず、悪臭の発生源もないことから選定しない。
地盤沈下	地盤沈下			○				大規模な盛土は行わない計画であるが、影響が考えられるため選定する。
土壤汚染	特定有害物質			○				「形質変更時要届出区域」に指定されており、評価項目として選定する。

注) ○印は、影響が考えられ、環境影響評価項目として選定した項目を示す。

無印は、影響がない又はほとんどないと考えられ、環境影響評価項目として選定しなかった項目を示す。

表 3-2-1(2) 環境影響評価の項目の選定結果

環境要素	環境影響要因	工事の実施				施設等の存在	施設等の供用		選定する理由 選定しない理由
		建設機械等の稼働	工事車両の走行	造成工事	プラント撤去工事		施設の供用	施設関連車両の走行	
廃棄物	一般廃棄物			○			○		一般廃棄物及び建設廃棄物の発生が想定されるため選定する。
	産業廃棄物			○	○		○		
	発生土			○	○				建設発生土が想定されるため選定する。
交通	交通混雑		○				○		工事車両の走行及び物流施設関連の車両の走行による影響が想定されるため選定する。
	安全交通		○				○		
	交通経路		○				○		
日照阻害	日照阻害					○			施設の存在により日照阻害が発生するおそれがあるため選定する。
電波障害	電波障害					○			施設の存在により電波障害が発生するおそれがあるため選定する。
風害	風害								高層建物を建設しないことから、施設等の存在によるビル風等の風害の影響は想定されないため選定しない。
コミュニティ	コミュニティ		○				○		工事車両の走行及び物流施設関連の車両の走行に伴う交通障害が発生し、地域を分断するおそれがあることから選定する。
気象	風向・風速								工事の実施、施設等の存在、施設等の供用は、気象環境を変化させる規模の計画ではないため選定しない。
	気温等								
地象	地形/地質/土質								工事の実施及び施設等の存在において大規模な地形改変を行わないため選定しない。
水象	河川					○			工事の実施、施設等の供用について、樹木の伐採を伴う大きな土地の改変はないが、施設等の存在により河川への影響が考えられることから、評価項目として選定する。
	ため池								
	地下水								

注) ○印は、影響が考えられ、環境影響評価項目として選定した項目を示す。

無印は、影響がない又はほとんどないと考えられ、環境影響評価項目として選定しなかった項目を示す。

表 3-2-1(3) 環境影響評価の項目の選定結果

環境要素	環境影響要因 細区分	工事の実施				施設等の存在	施設等の供用		選定する理由 選定しない理由
		建設機械等の稼働	工事車両の走行	造成工事	プラント撤去工事		施設の供用	施設関連車両の走行	
生態系	動物			○		○			造成工事及び施設等の存在が動物、植物、生態系への影響が考えられ、評価項目として選定する。
	植物			○		○			
	生態系			○		○			
景観	自然景観					○			施設等の存在が自然景観に及ぼす影響が考えられ、評価項目として選定する。
	都市景観					○			施設等の存在に伴い、都市景観及び歴史的・文化的景観への影響を確認するため選定する。
	歴史的・文化的景観					○			
人と自然との触れ合い活動の場	人と自然との触れ合い活動の場		○					○	工事車両及び施設関連車両の走行により、人と自然との触れ合い活動の場へのアクセス道路の交通障害が発生するおそれがあるため選定する。
文化財	有形文化財								有形文化財は事業実施区域内に存在しないため選定しない。
	埋蔵文化財			○					造成工事により、埋蔵文化財に影響を及ぼすおそれがあるため、評価項目として選定する。
地球環境	地球温暖化	○	○				○	○	建設機械の稼働及び工事車両の走行、施設等の供用に伴い発生する温室効果ガスの影響が考えられることから選定する。

注) ○印は、影響が考えられ、環境影響評価項目として選定した項目を示す。

無印は、影響がない又はほとんどないと考えられ、環境影響評価項目として選定しなかった項目を示す。